

2022 年度小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 23 日作成)

小委員会名	ヒューマンファクターデザイン建築評価法小委員会	主 査 名：鶴飼 真成 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備運営委員会)	委員長名：秋元 孝之 主 査 名：近本 智行
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	ヒューマンファクターデザインの効果、実用的な制御法を検証しながら、より実践的に利用価値を高める建築評価法を整備していく 初年度：事例、評価法などの情報収集 2 年度：評価法についての基準・運用手法の素案を作成 3 年度：評価法のガイドを作成、シンポジウムなどで成果発表	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：鶴飼真成 (早稲田大学) 幹事：近本智行 (立命館大学) 委員：秋元孝之 (芝浦工業大学)、大黒雅之 (大成建設)、大宮由紀夫 (竹中工務店)、小林弘造 (日建設計)、佐々木真人 (日本設計)、田辺新一 (早稲田大学)、野部達夫 (工学院大学)、西野淳 (ダイキン工業)、三浦克弘 (鹿島建設)、村上宏次 (清水建設)、横山計三 (工学院大学)、中野淳太 (東海大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 事例、評価法などの情報収集を実施した。 2. 評価アンケートの内容に関する議論を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	無

小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2022 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>当小委員会では、初年度（中間年度）として以下の活動を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小委員会の活動方針の確認、活動内容の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・小委員会としての活動方針を確認し、年度毎の委員会活動内容を検討した。 ・小委員会の成果として、3 年度（最終年度）にヒューマンファクターデザイン建築評価ガイドを作成し、シンポジウムなどで成果発表を行ってゆくことを確認した。 2. ヒューマンファクターに関する情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・委員からの提供された以下の情報を議論した。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 建物のウェルネス性能とワーク・エンゲージメントに関する研究 (2) 就労形態とオフィスに求められる機能 (3) マズローの「必要性の階層」とオフィスに関する考察 (4) ABW 志向型オフィスにおける執務空間の違いが知的生産性と心理・生理量に及ぼす影響に関する研究 3. テキストマイニングを用いたヒューマンファクターの分析 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンファクター建築刊行小委員会から出版した「環境のヒューマンファクターデザイン：健康で快適な次世代省エネ建築へ」に対してテキストマイニングを用いた分析を実施した。 ・ヒューマンファクターに関するキーワードとしては、①行動関連語：受容、適応、選択、行動、クレーム、②心理関連用語：快適、満足、③指標に関する語：温熱、健康、知的生産性、④ヒューマンファクターの基本的機能：自己効力感、行動変容、順応、刺激が抽出された。 4. ヒューマンファクターデザイン評価アンケートに関する議論 <ul style="list-style-type: none"> ・テキストマイニングを用いたヒューマンファクターの分析から得られたキーワードを基に、ヒューマンファクターデザイン評価アンケートを作成する方針を定めた。 5. 見学会 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンファクター建築として、以下の事例を視察した。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 熊谷組福井本店 (2) ダイダン北陸支店 (3) 清水建設北陸支店

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。